

2020年11月
株式会社エム・オー・エム・テクノロジー
株式会社エヌジェーシー
株式会社クオリティライフ・クリエイト

業界初、電子カルテデータとAIを活用した病院経営支援・業務改善サービス

レセプト精度診断AIシステム「a.iブレン（アイ ブレン）」の提供開始

～ 診療報酬の増収、医療事務職員の働き方改革、カルテ記載の適正化を支援 ～

株式会社エム・オー・エム・テクノロジー（MOMTEC）、株式会社エヌジェーシー（NJC）、株式会社クオリティライフ・クリエイト（QLC）の3社は、2018 年下期から複数のモデル病院での実証を経て、病院の診療報酬における査定・返戻を減らすことを目的とした従来商品とは全く異なり、電子カルテデータとレセプト（診療報酬明細書）データをAIの機械学習を使って診療報酬算定の精度向上を図るシステムと、本システムを活用した病院の経営効率・業務改善を支援するサービスを2020年11月末から提供を開始いたします。

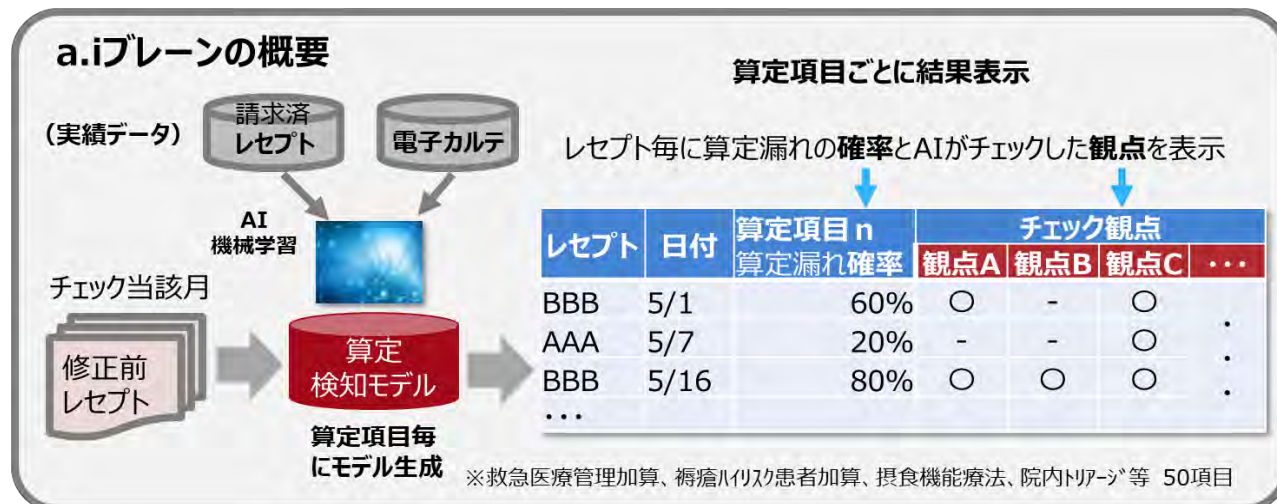
開発の背景

近年、多くの公立病院において経営状況が悪化するとともに、医師不足に伴い診療体制の縮小を余儀なくされるなど、その経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になっています。

特に急性期病院では、手術等高度治療へのシフト、クリティカルパス等によるレセプト作成業務の複雑化に加え、働き方改革による業務の効率化推進、診療報酬改定対応のための人材育成や教育などの課題に直面しています。

この課題解決のため、電子カルテデータを用いることで、これまでにない精度の高いAIによるレセプトの算定漏れを検知するシステムを開発し、医業収益の増収、医療事務職員の労働時間の短縮、カルテ記載の適正化など業務運用改善を強力に支援してまいります。

a.iブレンの概要



AI 機械学習における技術的要素

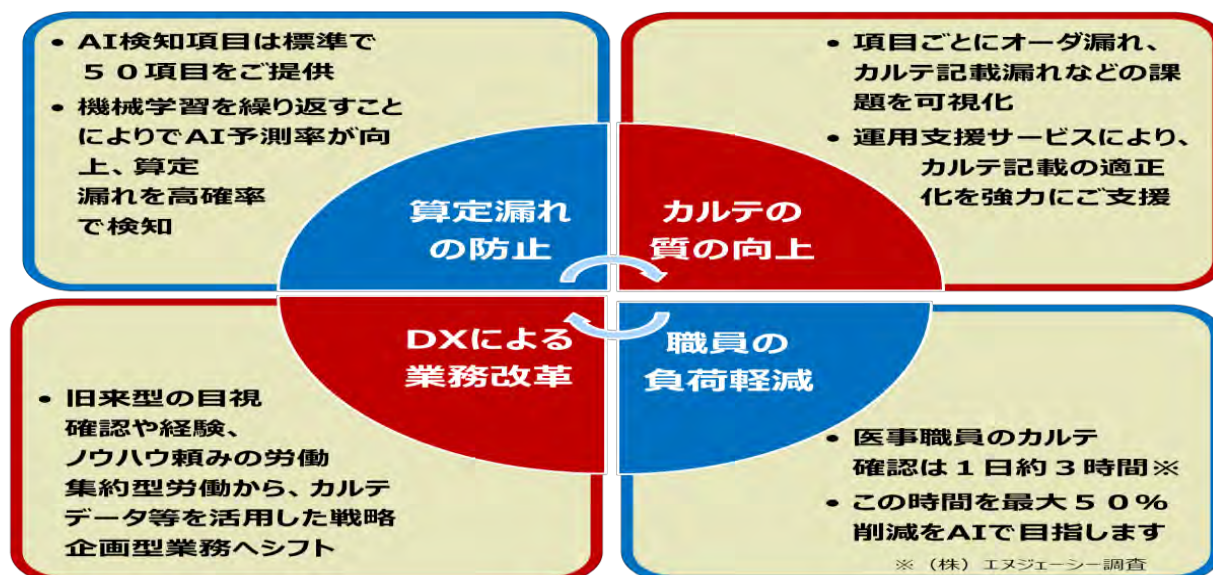
1. 自然言語処理でカルテ情報(テキスト)から重要な用語を抽出。
2. 算定項目ごとに異なる算定ルールを効率よく学習させるための情報を電子カルテから抽出
⇒特定の医療ワード、他の算定項目との関係、・時間帯などを網羅的にチェックし高い精度を実現
3. 検査結果等から P/F 比などの算出。カルテ記載が無い場合でも算定可能項目を判断。

従来製品（レセプトチェックシステム）との違い

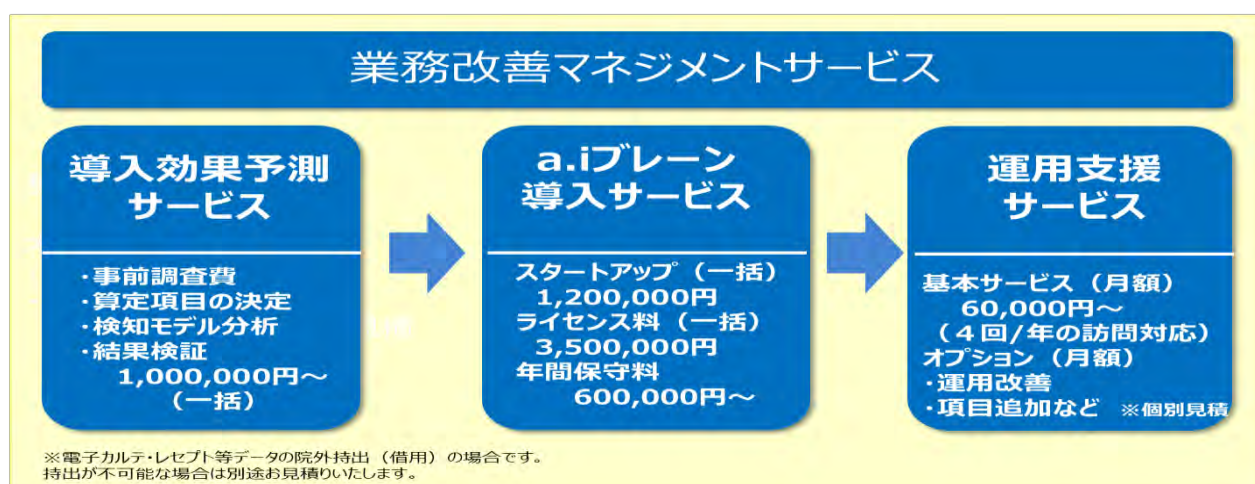
本分野では、レセプトの**返戻・査定の防止**を目的とした「レセプトチェックシステム」が既に多くの製品が提供されていますが、分析対象は**レセプトのみ**でチェックの精度は**導入病院で設定するマスタ作成**に依存しています。

これに対して本サービスは、レセプトに加えて**電子カルテ、手術・検査等の部門システムのデータ**を網羅的に**AIが機械学習**することで、**高い精度で算定漏れを検知**でき、かつ検知結果は算定漏れの防止だけでなく、**病院の業務改善**に活用することができるようになります。

本サービスの導入効果



製品体系と価格



販売目標

2020～21年度：12システム、22年度：18システム、23年度：22システム

本製品のお問い合わせ先

株式会社エム・オー・エム・テクノロジー 管理統括部

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-9 第7東ビル

TEL：03-5209-2561 FAX：03-5209-2566

株式会社エヌジェーシー 医療経営サポート課

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4-2200 大阪駅前第4ビル 22F

TEL：06-6136-3230 FAX：06-6136-3231

株式会社クオリティライフ・クリエイト 経営企画部

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目8-24 刈込材利4階

TEL：052-799-5671 FAX 052-799-5672

以 上

本リリース文に対するアライアンス企業様からのエンドースメント

株式会社 富士通ソフトウェアテクノロジーズは「レセプト精度診断AIシステム“a.i ブレーン”」が提供開始されることを心より歓迎いたします。

弊社 AI 技術が“a.i ブレーン”の提供を通じて、多くの病院の医療事務に従事する方の働き方改革と業務改善などのデジタルトランスフォーメーションに貢献できるものと期待しております。

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

代表取締役社長 新田 将人